

都市再生整備計画

か が か さ ま え き し ゅ う へ ん
加賀笠間駅周辺地区

いしかわ はくさん し
石川県 白山市

令和4年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	■
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	石川県	市町村名	はくさんし 白山市	地区名	か が か き ま え き し ゅ う へ ん 加賀笠間駅周辺地区	面積	52.3 ha
計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度	交付期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度				

目標

- 大目標: 鉄道を活かした賑わいづくりと、安全安心なまちの実現
- 目標1: 鉄道を活かした交流拠点の創出
 - 目標2: 駅の利便性と周辺の快適な歩行空間や移動手段の確保による回遊性の向上
 - 目標3: 安全安心な生活環境の向上

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

白山市は、日本三名山の一つである白山から手取川扇状地を経て日本海に至る広大な面積を有している。県都金沢市に隣接し、平野部をJR北陸本線や北陸鉄道石川線、北陸自動車道が通り、沿線に市街地が形成されている。山間部においては人口減少が進んでいるものの、平野部ではこれまで都市の拡大が続き、人口も増加してきたが、近年は人口の増加が鈍化し、今後、少子高齢化や人口減少とともに、市街地の空洞化や賑わいの喪失、都市の魅力低下が懸念される。こうしたことから、市街地の過度の拡大抑制を図り、居住や都市の利便性をまちなかへ集約していくため、松任駅、美川駅、鶴来駅、加賀笠間駅、(仮称)西松任駅の周辺を都市機能誘導区域に設定して、文化、保育、金融、教育、福祉、医療、商業、行政の各施設を誘導し、公的不動産を活用しながら、文化・交流活動の中心地として充実を図る。また、各都市機能誘導区域を含む周辺一帯を居住誘導区域に設定して居住を誘導し、定住の受け皿として人口規模や人口密度の拡充・維持を図っていく。

まちづくりの経緯及び現況

加賀笠間駅周辺地区(以下、「当地区」という。)は、JR加賀笠間駅より北側(松任駅側)の北陸本線の両側に形成された市街地で、松任の中心市街地に近いことから、拡大する住宅需要に対応するため、大部分が土地区画整理事業によって整備された住宅地である。鉄道の東側の加賀野地区はS49(1974)～H2(1990)年に整備され、H3(1991)～H8(1996)年には西側の笠間新・宮保新地区、H8(1996)～H10(1998)年には東側の宮原地区が整備された。笠間新・宮保新地区や宮原地区では地区計画が定められ、良好な環境の住宅地の形成が図られてきた。しかし、道路や公園等の公共施設の一部が老朽化しつつあり、順次、補修・更新が進められているところであるが、当地区全体の人口はH17(2005)年頃をピークに減少傾向にある。H27(2015)年3月には北陸新幹線が金沢まで開業し、当地区の北東側に隣接して、北陸新幹線の車両基地である白山総合車両所が開設された。車両所は最先端の鉄道技術を有していることから、年1回の一般公開や週2日の予約制の団体向け見学ツアーは鉄道愛好家や家族連れ、先端技術に興味を持つ人などの人気を集めている。白山市内には、白山総合車両所のほか、JR在来線の金沢総合車両所や北陸鉄道の車両工場もあることから、道の駅めぐみ白山に鉄道のPRコーナーが設けられるなど、白山市を「鉄道のまち」として発信して観光や地域活性化に活かす取組が進められている。

さらに、北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業(R6(2024)年春予定)を控えていることから、白山総合車両所の通年で一般公開など、観光資源や地域文化の発信・交流拠点としての活用が期待されており、白山市は、車両所に隣接する当地区内に「(仮称)白山総合車両所ビジターセンター」の建設を計画している。また、周辺自治体の能美市・野々市市・川北町とともに、H29(2017)年度に「新幹線車両所の活用による観光・産業振興ビジョン」、R1(2019)年度に「新幹線車両所等の活用による観光プラン」を策定し、観光振興策の推進を目指している。当地区においては、加賀笠間駅がビジターセンターの最寄駅となることから、ビジターセンターや白山総合車両所の来訪者の駅利用が増えるとともに、加賀笠間駅とビジターセンター間の歩行者が増加することが想定されている。

また、当地区の北西側に隣接して金城大学があり(S51(1976)年に現在地で金城短期大学として開学)、加賀笠間駅は住民だけでなく学生の利用も多い。

一方、当地区では、笠間地区振興協議会や加賀野地区振興協議会を中心にコミュニティ活動が行われているほか、笠間商工連盟による加賀笠間駅前の冬季のイルミネーション点灯、「加賀笠間駅をよくする会」と金城大学による駅舎周辺の草刈りや清掃、「歩恋(あるこう)会かさま」と金城大学が連携したウォーキング等の健康増進活動など、地元の事業者、住民、金城大学等による様々な取組が行われている。

課題

- ・白山総合車両所を観光及び地域交流拠点として活用するための環境整備が求められている。
- ・白山総合車両所来訪者や学生、住民が利用しやすいよう、加賀笠間駅や地区内道路のバリアフリー化など歩行空間の整備、移動の利便性向上が求められている。
- ・都市機能誘導区域及び居住誘導区域として住みよい環境を維持・向上させるため、安全安心な生活環境の整備が求められている。

将来ビジョン(中長期)

- ①第2次白山市総合計画(2017-2026)(平成29年3月策定)
- 当地区に関連する主な施策として、以下のものが挙げられている。
- ・総合車両所等を活用した、ものづくりの心にふれ、学び、体験する「産業観光の拠点充実」
 - ・新幹線と在来線の総合車両所やローカル鉄道の終着駅を有する「鉄道のまち」としての魅力発信
 - ・並行在来線(JR北陸本線からIRいしかわ鉄道へ移管予定)の利便性の維持・向上
 - ・北陸新幹線やJR北陸本線(IRいしかわ鉄道)の二次交通の利便性向上、二次交通網の利用促進
- ②第2次白山市都市計画マスタープラン(2020-2030)(令和2年3月策定)
- 【当地区を含む松任西南部地域の将来都市像】～にぎわい拠点の形成と工業地の充実による、交流と活力を創出するまち～
- 【松任西南部地域のまちづくり方針のうち、当地区に関連する事項】
- 方針: 駅周辺における良好な市街地の形成およびにぎわい拠点の形成
- ・JR加賀笠間駅周辺の良好な住宅地としての充実と拡大
 - ・文教エリアとしての市街地の充実と交流促進
 - ・文化・福祉・レクリエーション施設の充実と防災機能の強化
 - ・白山総合車両所等とその周辺におけるにぎわい拠点の形成

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【目標1: 鉄道を活かした交流拠点の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白山総合車両所を観光及び地域交流拠点として活用するため、隣接地にビジターセンターを整備し、鉄道の先端技術に触れられる場とする。また、鉄道をモチーフにした屋内遊具施設を設け、地区内外のファミリー層が交流できる場とし、鉄道のまちとしての魅力の発信や賑わい創出、当地区への子育て世代の定住促進を図る。 ・ビジターセンターを拠点に白山市及び周辺地域への観光周遊を促進して地域活性化を図るため、観光コーナーを設置するとともに、観光ガイドの育成やモニターツアーの実施、観光マップの作成等の観光交流事業を行う。 	<p>【基幹事業】高次都市施設 観光交流センター：(仮称)白山総合車両所ビジターセンター整備 【基幹事業】高次都市施設 地域交流センター：(仮称)白山総合車両所ビジターセンター整備 【基幹事業】地域生活基盤施設：屋外広場整備 【提案事業】まちづくり活動推進事業：観光交流事業</p>
<p>【目標2: 駅の利便性と周辺の快適な歩行空間や移動手段の確保による回遊性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加賀笠間駅のバリアフリー化や、鉄道により分断された当地区内の移動の利便性向上のため、加賀笠間駅に自由通路を整備する。 ・加賀笠間駅を拠点とした移動の利便性向上のため、駅前の駐輪場の上屋整備や歩道の整備、駅から白山総合車両所間の歩行者動線や案内サインを整備する。さらに、回遊性向上を図るため、シャトルバス運行やレンタサイクルの実施に向けて、実証実験を行う。 	<p>【基幹事業】地域生活基盤施設：加賀笠間駅自由通路、駐輪場、案内サイン整備 【基幹事業】高質空間形成施設：市道D135号線外2路線歩道整備、市道加賀野7号線外5路線歩行者動線整備 【提案事業】まちづくり活動推進事業：シャトルバス・レンタサイクル実証実験</p>
<p>【目標3: 安全安心な生活環境の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の道路の歩道のバリアフリー化を行う。 ・安全性向上のため、地下道へのLED照明の設置や地区内への防犯カメラの設置を行う。 ・大雨による冠水等を防止するため、雨水排水路を整備する。 	<p>【基幹事業】高質空間形成施設：市道加賀野14号線歩道のセミフラット化、加賀野地下道のLED照明設置 【提案事業】地域創造支援事業：防犯カメラ設置 【提案事業】地域創造支援事業：雨水排水路整備</p>

その他		
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <p>○笠間商工連盟 2014年度より、賑わい創出のため、加賀笠間駅前で冬季にイルミネーションを点灯している。</p> <p>○加賀笠間駅をよくする会(住民有志) 金城大学等とともに、加賀笠間駅の駅舎周辺の草刈りや清掃を実施している。</p> <p>○歩恋(あるこう)会かさま(住民有志) 2019年度より、白山市市民提案型まちづくり支援事業を活用し、金城大学と連携協力して、健康寿命延伸のための活動を実施。ウォーキングコースの選定、ウォーキングマップの作成を行い、金城大学は体操指導、体力増進の効果測定、健康診断、測定データの活用とその指導などで協力している。</p>	<p>【白山市内の鉄道に関する主な資源】</p> <p>○白山総合車両所(北陸新幹線)</p> <p>○金沢総合車両所(JR在来線)</p> <p>○鶴来車輛工場(北陸鉄道)</p> <p>○道の駅めぐみ白山</p> <p>○D51形蒸気機関車</p>	
 <p>加賀笠間駅前のイルミネーション</p>		
 <p>「歩恋(あるこう)会かさま」作成のウォーキングマップ</p>		
		

都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

か が か さ ま え き し ゅ う へ ん ち く い し か わ は く さ ん し
加賀笠間駅周辺地区 (石川県白山市)

交付限度額算定表(その1)

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	2,108.9 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	24,450.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	2,108.9 百万円
-----------------------------	-------------	-----------------------	--------------	----------------------	-------------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	209,138 m ²
-----------	------------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	522,845
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	
○ 区域の面積が10ha未満の地区	0.50
○ 最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
○ その他の地域	0.40

Ci	518,700 円/m ²
-----------	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	1
公示価格の平均値(円/m ²)	43,500
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.003
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
-----------	-------------------------

控除額	0 百万円
------------	-------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

Ap	127,973 m ²
-----------	------------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	108,342	0.21
公園	19,631	0.04
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	127,973	0.24

Cn を考慮しない場合の交付限度額(Y1)	21,983 百万円
------------------------------	------------

ΣCn	4,934,900,000 円
------------	-----------------

下水道	0 円
区域面積(m ²)	522,845
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

○ 地域交流センター等の公益施設(建築物)	3,980,900,000 円
-----------------------	-----------------

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	423,500

調整池	0 円
-----	-----

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
----	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0

標準整備費(円/戸)

	超高層	一般
北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
特別地区	49,120,000	35,690,000
大都市地区	37,170,000	30,180,000
多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
奄美地区	39,520,000	35,640,000
沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	0 円
--------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

○ 人工地盤	954,000,000 円
--------	---------------

人工地盤の延べ面積(m ²)	180
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cn を考慮した場合の交付限度額(Y2)	24,450 百万円
-----------------------------	------------

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集中支援事業>

交付限度額(X1)	1,826.9 百万円
-----------	-------------

<都市再生整備計画事業>

交付限度額(X2)	282.0 百万円
-----------	-----------

<まちなかウォークアブル推進事業>

交付限度額(X3)	百万円
-----------	-----

交付限度額算定表(その2)(都市構造再編集集中支援事業)

【当初から都市構造再編集集中支援事業を実施する地区の場合】

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

○ 交付対象事業費

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

<都市機能誘導区域内>

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	3,574.000
	提案事業合計(B)	61.700
	合計(A+B)	3,635.700

(事業費)
(事業費)
(事業費)

以下の2つの条件それぞれについて、該当する場合は0を入力。

都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合	
提案事業枠2割拡充の適用	

※都市機能誘導区域面積割合: 都市機能誘導区域の面積の市街化区域等(市街化区域又は非線引き用途地域)の面積に占める割合。

<都市機能誘導区域外>

交付対象事業費	基幹事業合計(C)	0.000
	提案事業合計(D)	20.300
	合計(C+D)	20.300

(事業費)
(事業費)
(事業費)

$(10/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$ ($\alpha 1$)	
※都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合: $(9/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$	3,653.970 ①
$(10/9 \times (A+C))$ ($\alpha 2$)	
※提案事業2割拡充を適用する場合: $(10/8 \times (A+C))$	3,971.111 ②
交付限度額(①、②の小さい方 $\times 1/2$)	1,826.985 ③ (国費)

○ 交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B+C+D)	3,656.0
------------------	---------

(事業費)

交付要綱に基づく交付限度額 (③を1万円の位を切り捨て)	1,826.9 ④ (国費)
国費率	0.500 ⑤ (国費率)

交付限度額算定表(その2)(都市再生整備計画事業)

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

○交付対象事業費

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	700.000	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	282.000	① (国費)
	提案事業合計(B)	5.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	388.889	② (国費)
	合計(A+B)	705.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	282.000	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.008		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の2つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を入力。

・3)式の適用[提案事業枠2割拡充]		(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・4)式の適用[都市再生緊急整備地域等の国費率45%拡充]		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	282.000	⑥ (国費)
				3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○4)式の適用がある場合の事業費等

4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	適用前の国費率※		⑧ (国費率)	
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)	※計画認定日の属する年度の年度末における1)式から3)式を適用して算出した交付限度額を交付対象事業費の事業費で除した値			
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑨ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		適用後の国費率(⑨÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑩ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)		4)式適用後の限度額(⑧×F+⑩×H)	#DIV/0!	⑪ (国費)

※都市再生整備計画事業の当初から4)式の適用を受ける場合は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

交付限度額	282.000	⑫ (国費)
-------	---------	--------

○交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B)	705.0	(事業費)	交付要綱に基づく交付限度額 (⑫を1万円の位を切り捨て)	282.0	⑬ (国費)
			国費率	0.400	⑭ (国費率)

年次計画(都市構造再編集中支援事業)

様式(2)-⑤-1
(事業費:百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
細項目									
道路									
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設		屋外広場	白山市	167.3	52.3	115			
		加賀笠間駅自由通路	白山市	860		20	40	400	400
		加賀笠間駅前駐輪場、東口駐輪場	白山市	138.5		2.5	76	60	
		案内サイン	白山市	6			3	3	
高質空間形成施設		市道D135号線外2路線(歩道整備)	白山市	121.5		50	71.5		
		市道加賀野14号線(歩道のセミフラット化)	白山市	25.0				25	
		市道加賀野7号線外5路線(歩行者動線整備)	白山市	18		18			
		加賀野地下道照明	白山市	5	5				
高次都市施設	地域交流センター	(仮称)白山総合車両所ビジターセンター	白山市	1,256.2	752.2	504			
	観光交流センター	(仮称)白山総合車両所ビジターセンター	白山市	976.5	631.5	345			
	まちおこしセンター								
	子育て世代活動支援センター								
	複合交通センター								
誘導施設	医療施設								
	社会福祉施設								
	教育文化施設								
	子育て支援施設								
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				3,574.0	1,441	1,054.5	190.5	488	400
提案事業									
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
細項目									
地域創造 支援事業	防犯カメラ設置	加賀笠間駅前外4箇所	白山市	2				2	
	雨水排水路整備	美笠区、西柏3丁目地内	白山市	35		20	15		
事業活用 調査									
まちづくり活動 推進事業	シャトルバス・レンタサイクル実証実験	加賀笠間駅	白山市	21			21		
	観光交流事業	—	白山市	24	4	6	7	5	2
計				82	4	26	43	7	2
合計				3,656.0	1,445	1,080.5	233.5	495	402
累計進捗率 (%)					39.5%	69.1%	75.5%	89.0%	100.0%

(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	全体 事業費	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(仮称)白山総合車両所ビクターセンター整備	(仮称)白山総合車両所ビクターセンター	白山市	700	436.5	263.5			
事業実施効果調査	—	白山市	5					5
道路改良事業(道路拡幅整備)	市道米永松本線	白山市	1,152	32	43			
加賀野第1号公園再整備	加賀野第1号公園	白山市	44.1	39.4				
加賀野第3号公園再整備	加賀野第3号公園	白山市	30.1	26.4				
加賀野第5号公園再整備	加賀野第5号公園	白山市	29.4	0.9				
合計			1,961	535.2	306.5	0	0	5
累計進捗率 (%)				27.3%	42.9%	42.9%	42.9%	43.2%

年次計画(都市再生整備計画事業)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
細項目									
基幹事業									
道路									
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設									
高次都市施設	地域交流センター								
	観光交流センター	(仮称)白山総合車両所ビジターセンター	白山市	700	436.5	263.5			
	まちおこしセンター								
	子育て世代活動支援センター								
	複合交通センター								
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				700	436.5	263.5	0	0	0
提案事業									
地域創造 支援事業									
事業活用 調査	事業実施効果調査	—	白山市	5					5
まちづくり活動 推進事業									
計				5	0	0	0	0	5
合計				705	437	263.5	0	0	5
累計進捗率 (%)					61.9%	99.3%	99.3%	99.3%	100.0%

(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	全体 事業費	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
屋外広場整備	屋外広場	白山市	167.3	52.3	115			
加賀笠間駅自由通路整備	加賀笠間駅	白山市	860		20	40	400	400
駐輪場上屋整備	加賀笠間駅前駐輪場、東口駐輪場	白山市	138.5		2.5	76	60	
案内サイン整備	笠間町地内、宮保町地内	白山市	6			3	3	
歩道整備	市道D135号線外2路線	白山市	121.5		50	71.5		
歩道のセミフラット化	市道加賀野14号線	白山市	25				25	
歩行者動線整備	市道加賀野7号線外5路線	白山市	18		18			
加賀野地下道照明設置	加賀野地下道	白山市	5	5				
(仮称)白山総合車両所ビジターセンター整備(地域交流センター)	(仮称)白山総合車両所ビジターセンター	白山市	1256.2	752.2	504			
(仮称)白山総合車両所ビジターセンター整備(観光交流センター)	(仮称)白山総合車両所ビジターセンター	白山市	976.5	631.5	345			
防犯カメラ設置	加賀笠間駅前外4箇所	白山市	2				2	
雨水排水路整備	美笠区、西柏3丁目地内	白山市	35		20	15		
シャトルバス・レンタサイクル実証実験	加賀笠間駅	白山市	21			21		
観光交流事業	—	白山市	24	4	6	7	5	2
道路改良事業(道路拡幅整備)	市道米永松本線	白山市	1,152	32	43			
加賀野第1号公園再整備	加賀野第1号公園	白山市	44.1	39.4				
加賀野第3号公園再整備	加賀野第3号公園	白山市	30.1	26.4				
加賀野第5号公園再整備	加賀野第5号公園	白山市	29.4	0.9				
合計			4911.6	1543.7	1123.5	233.5	495	402
累計進捗率 (%)				31.4%	54.3%	59.1%	69.1%	77.3%

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 <small>m</small>	幅員		整備後 車線数 <small>車線</small>	歩道 幅員 <small>m</small>	まち交 事業費 <small>百万円</small>	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画決 定 <small>年月</small>	備 考 <small>注4)</small>
							整備前 <small>m</small>	整備後 <small>m</small>							
<道路>				-											
	～			-											
	～			-											
	～			-											
	～			-											
	～			-											

(参考)

<関連事業>															
市道米永松本線	宮保町～東美沢野町	市	市	交		490	13	16	2	5	95	H25～R5	道路拡幅整備		

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。
<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街：街路、地：地方道(市町村道)、国：国道、主：主要地方道、一：一般都道府県道、市：市町村道、他：いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築：交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場：都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 不足する場合は適宜行を追加すること

地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地								—	
広場	屋外広場	白山市	A=約4,000㎡	167.3	0	52.3	115	—	
駐車場									
自転車駐車場	加賀笠間駅前駐輪場	白山市	上屋付き平面式駐輪場 A=665m ² 、300台	72.5	2.5	0	70		都市計画決定無し、白山市自転車等駐車場条例に位置づけ有り
	加賀笠間駅東口駐輪場	白山市	上屋付き平面式駐輪場 A=590m ² 、270台	66	6	0	60		
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板	案内サイン	白山市	N=2箇所	6	1	0	5	—	
地域防災施設	施設種別:								
人工地盤	加賀笠間駅自由通路	白山市	L=60m、W=3m	860	60	0	800	—	設計未実施
合計	—	—	—	1,171.8	69.5	52.3	1,050	0	

地域生活基盤施設:屋外広場整備

【整備箇所】



【屋外広場イメージ】



【事業概要】

(仮称)白山総合車両所ビジターセンターの整備に合わせ、来訪者や地域住民等の憩いの場として、屋外に多目的広場を整備する。

地域生活基盤施設: 駐輪場上屋整備

【現況写真】

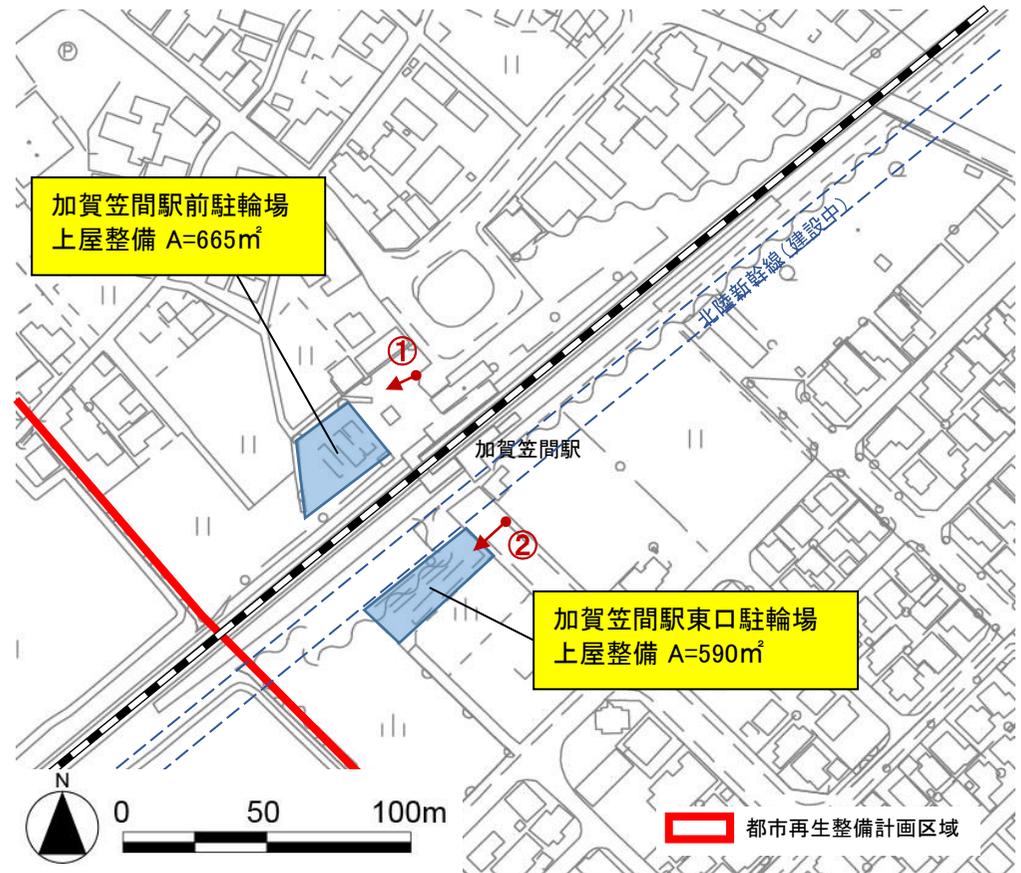
①加賀笠間駅前駐輪場(西口)



②加賀笠間駅東口駐輪場



【整備箇所】



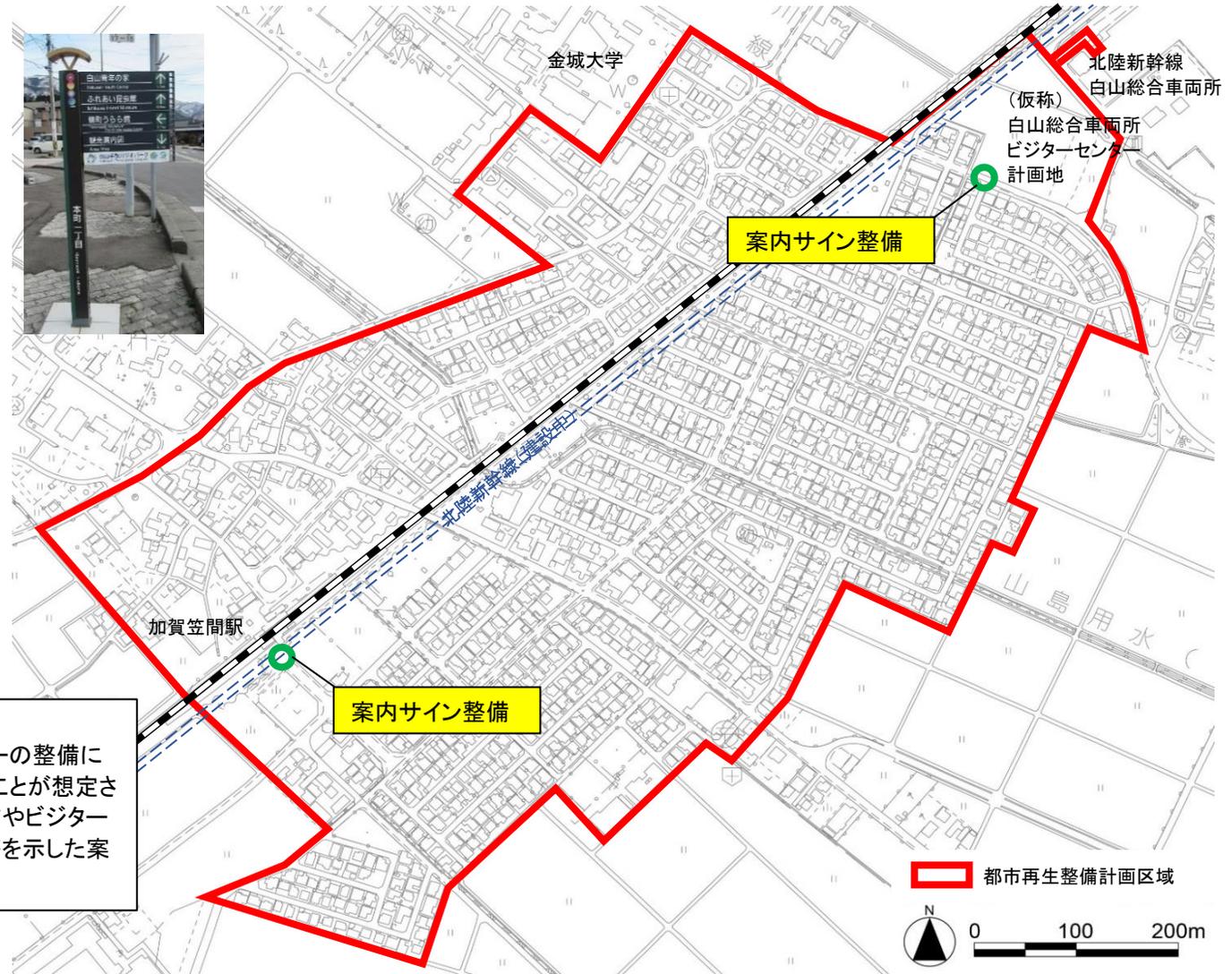
【事業概要】

加賀笠間駅は通勤・通学のため多くの方が駐輪場を利用している。そのため、既存の駐輪場上屋内に駐車できない状況であることから、今回、駐輪場上屋付きの駐車台数を増加し、より利便性の高い駐輪場整備を行う。

地域生活基盤施設:案内サイン整備

【整備箇所】

【案内サインイメージ】



【事業概要】

(仮称)白山総合車両所ビジターセンターの整備に合わせ、地区外からの来訪者が増えることが想定されるため、最寄り駅となる加賀笠間駅前やビジターセンター付近に、周辺の地図やルート等を示した案内サインを整備する。

地域生活基盤施設:加賀笠間駅自由通路整備

【現況写真】

①加賀笠間駅西口



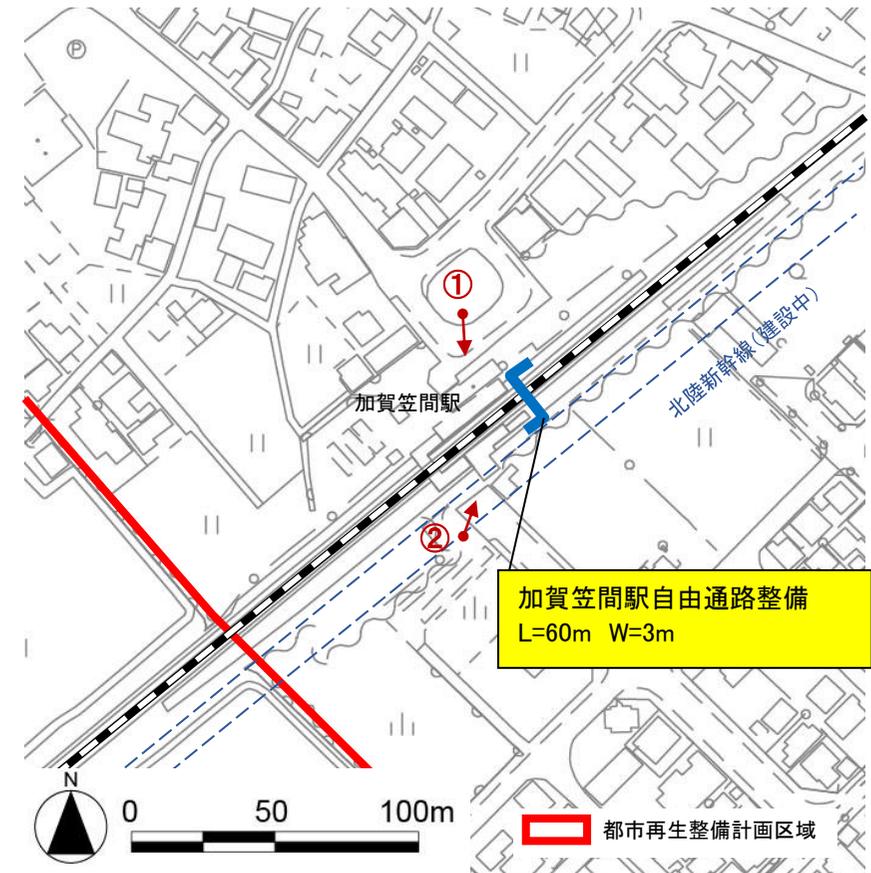
②加賀笠間駅東口



【加賀笠間駅自由通路計画図案】



【整備箇所】



【事業概要】

加賀笠間駅は改札内にこ線橋があるものの、エレベーターはなく、駅利用者以外が渡れる通路もない。最寄の踏切から迂回すると、約640mの移動が必要である。そのため、駅利用者をはじめ、JR北陸本線で分断された本地区の地域住民の利便性向上を図るため、加賀笠間駅にエレベーターを備えた自由通路を整備する。

高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、 せせらぎ・カスケード、カラー舗 装・石畳、照明施設、給電・給 排水施設、ストリートファニ チャー・モニュメント、土塁、堀 跡等)	市道D135号線外2路 線(歩道整備)	白山市	L=約700m (舗装のグレードアップ、 LED街路灯)	121.5	6.5	0	115	都市計画決定無し
	市道加賀野14号線(歩 道のセミフラット化)	白山市	L=約120m	25	3	0	22	都市計画決定無し
	市道加賀野7号線外5 路線(歩行者動線整 備)	白山市	L=約1km (舗装の塗装、路面誘導 サイン)	18	3	0	15	都市計画決定無し
	加賀野地下道LED照 明	白山市	L=70m	5	1	0	4	
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設								
歩行支援施設、障害者誘導施 設等								
情報化基盤施設								
合計	—	—	—	169.5	13.5	0	156	

高質空間形成施設:市道D135号線外2路線(歩道整備)

【現況写真】

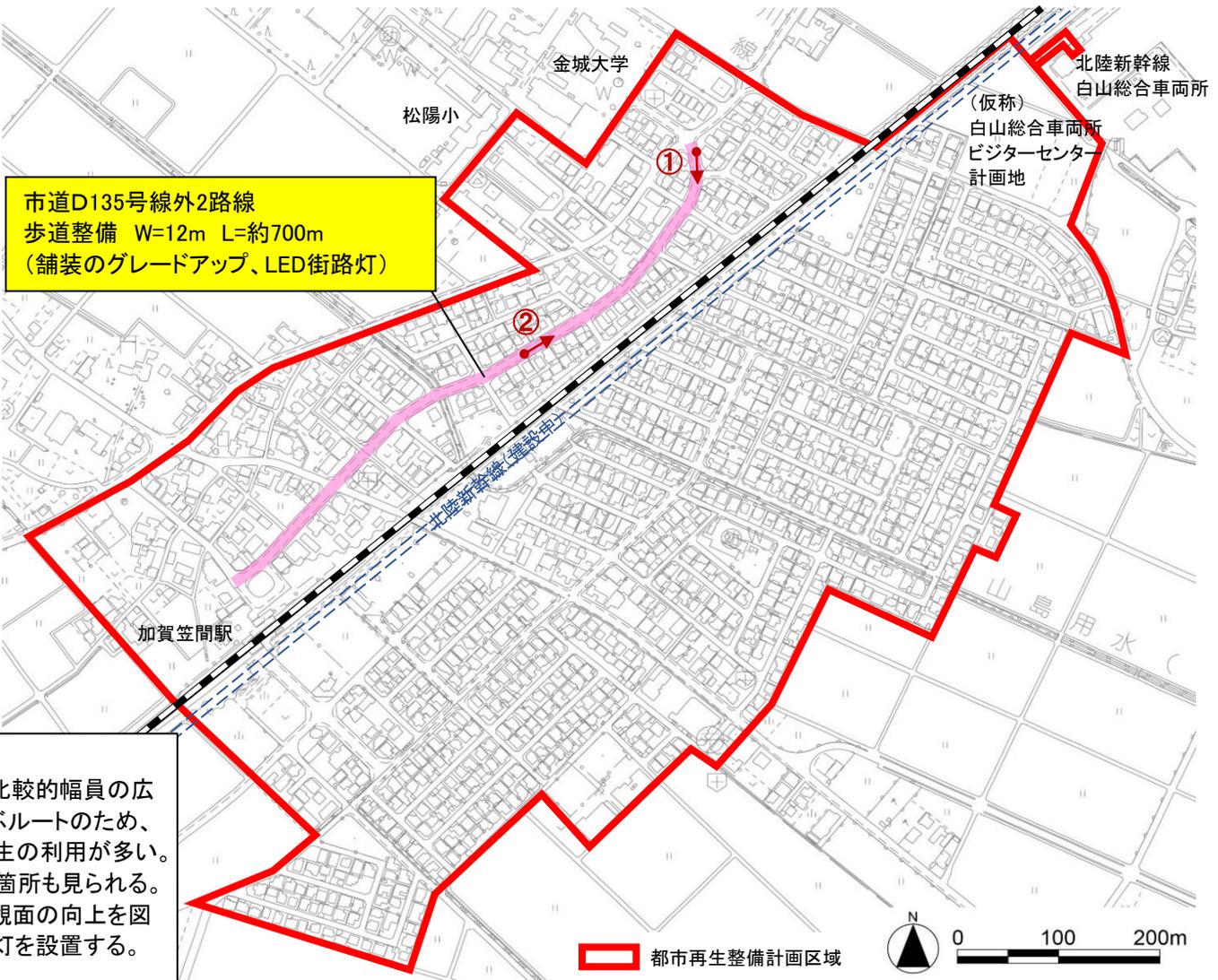
①市道D135号線



②市道D135号線



【整備箇所】



【事業概要】

当該道路は両側に歩道を有し、区内では比較的幅員の広い路線である。加賀笠間駅と金城大学を結ぶルートのため、地域住民をはじめ、金城大学の学生や小学生の利用が多い。しかし、舗装が老朽化し、一部剥がれている箇所も見られる。そこで、地区の主要路線として、安全性と景観面の向上を図るため、舗装のグレードアップとLEDの街路灯を設置する。

高質空間形成施設:市道加賀野14号線(歩道のセミフラット化)

【現況写真】

①



②



【事業概要】

鉄道の東側の加賀野地区は、S49～H2に整備された住宅地で、歩道はマウントアップ型が多かったため、順次、セミフラット化を進めているところである。
本路線においても、歩行者の安全性向上を図るため、セミフラット化整備を行う。

【整備箇所】



高質空間形成施設:市道加賀野7号線外5路線(歩行者動線整備)

【現況写真】

①市道加賀野37号線



【整備箇所】



【事業概要】

(仮称)白山総合車両所ビジターセンターのオープン後は、一部の来訪者は最寄駅である加賀笠間駅から徒歩で来訪することが想定される。本地区は住宅地であり、住民の住環境の保全と来訪者の利便性向上のため、歩行者動線を設定し、カラー舗装や路面誘導サインの設置により来訪者の誘導を図る。

【歩行者動線整備イメージ】



【路面誘導サインイメージ】



高質空間形成施設:加賀野地下道照明設置

【現況写真】

①加賀野地下道



②加賀野地下道



【整備箇所】



【事業概要】

加賀野地下道は本地区で唯一の地下道で、松陽小学校に近く、小学生等が多く利用しているため、LED照明を設置し、安全性向上を図る。

高次都市施設

■地域交流センター、観光交流センター、まちおこしセンター、子育て世代活動支援センター、複合交通センター

(単位:百万円)

施設名	事業主体	概要 (床面積、規模等)	交付期間内事業期間		交付期間内事業費				備考 (施設の内容等)	
			開始年度	完了年度	うち設計費	うち用地費	うち整備費	うち購入費		
(仮称) 白山総合車両所 ビジターセンター (地域交流センター) ※都市機能誘導区域内	白山市	延べ床面積約1,300㎡ 全体敷地約13,000㎡	R4	R5	1,256.2	0	61.2	1,195	0	・ビジターセンター機能(約500㎡) ・屋内遊具施設(約800㎡) ・駐車場(大型バス、普通車)
(仮称) 白山総合車両所 ビジターセンター (観光交流センター) ※都市機能誘導区域内	白山市	延べ床面積約1,200㎡ 全体敷地約13,000㎡	R4	R5	976.5	0	56.5	920	0	・観光情報機能・物販機能(約400㎡) ・展望室等(約800㎡) ・駐車場(大型バス、普通車)
(仮称) 白山総合車両所 ビジターセンター (観光交流センター) ※誘導区域外	白山市	延べ床面積約400㎡	R4	R5	700.0	0	0	700	0	・白山総合車両所接続ブリッジ・見学エリア等(約400㎡)

【都市構造再編集中支援事業】高次都市施設(地域交流センター):(仮称)白山総合車両所ビジターセンター整備

【現況写真】



【建物外観イメージ】



【事業概要】

白山総合車両所を交流拠点として活用するため、白山総合車両所の隣接地に地域交流センターと観光交流センターを合築した「(仮称)白山総合車両所ビジターセンター」を整備する。

地域交流センターとしては以下の施設を整備し、地区内外のファミリー層が交流できる場とし、鉄道のまちとしての地域文化の発信や賑わい創出、当地区への子育て世代の定住促進を図る。

- 1階: 鉄道の先端技術に触れられる展示スペース (ビジターセンター機能)
- 2階: 地域内外の子どもが楽しめる鉄道をモチーフにした屋内遊具施設

【(仮称)白山総合車両所ビジターセンター配置案】



- 都市再生整備計画区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

【都市構造再編集集中支援事業】高次都市施設(観光交流センター):(仮称)白山総合車両所ビジターセンター整備

【現況写真】



【展望ホール2・3 イメージ】



【事業概要】

白山総合車両所を交流拠点として活用するため、白山総合車両所の隣接地に地域交流センターと観光交流センターを合築した「(仮称)白山総合車両所ビジターセンター」を整備する。

観光交流センターとしては以下の施設を整備し、鉄道のまちとしての地域文化の発信とともに、白山市及び周辺地域の魅力発信や周遊促進を図り、地域活性化につなげる。

- 1階: 観光情報・物販コーナー
- 3階・4階: 展望室・観光客休憩スペース

【(仮称)白山総合車両所ビジターセンター配置案】



【都市再生整備計画事業】高次都市施設(観光交流センター):(仮称)白山総合車両所ビジターセンター整備

【現況写真】

①



【白山総合車両所】



【(仮称)白山総合車両所ビジターセンター配置案】



【事業概要】

白山総合車両所を交流拠点として活用するため、白山総合車両所の隣接地に地域交流センターと観光交流センターを合築した「(仮称)白山総合車両所ビジターセンター」を整備する。
観光交流センターとして、ビジターセンターと車両所を結ぶ接続ブリッジ及び車両所見学エリアを整備して鉄道文化を体験できるようにし、車両所に隣接する当施設の魅力を高めて誘客を図る。

事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(単位:百万円)

事業名	事業概要	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付期間内事業費				事業費の主な使途概要	その他	
				開始年度	完了年度	うち調査費	うち用地費	うち整備費	うち購入費			
■地域創造支援事業 防犯カメラ設置	地区内の路上や地下道に防犯カメラを設置する。	白山市	N=5箇所、 6基	R7	R7	2			2		防犯カメラの設置費	
■地域創造支援事業 雨水排水路整備	大雨による冠水等を防止するため、雨水排水路を整備する。	白山市	L=200m	R5	R6	35			35		雨水排水路の整備費	
■事業活用調査 事業実施効果調査	事業の最終年度に事業全体の効果調査を実施する。	白山市	N=1式	R8	R8	5	5				調査実施に係る費用	
■まちづくり活動推進事業 (社会実験) シャトルバス・レンタサイクル実証実験	○シャトルバス実証実験 (仮称) 白山総合車両所ビジターセンターへの交通手段確保と回遊性向上を図るため、シャトルバス運行の実証実験を行う。	白山市	N=1式	R6	R6	14	14				実証実験の企画・準備、実施、調査・分析、広報に係る費用	
	○レンタサイクル実証実験 (仮称) 白山総合車両所ビジターセンターへの交通手段確保と回遊性向上を図るため、加賀笠間駅を拠点としたレンタサイクルの実証実験を行う。	白山市	N=1式	R6	R6	7	7				実証実験の企画・準備、実施、調査・分析、広報に係る費用	
■まちづくり活動推進事業 (啓発・研修活動、情報収集・提供活動) 観光交流事業	○観光ガイド等の人材育成 (仮称) 白山総合車両所ビジターセンターの観光コーナーで観光ガイドをする人材を育成する。	白山市	N=1式	R4	R8	5	5				研修に係る費用	
	○モニターツアーの実施及び旅行モデル化 (仮称) 白山総合車両所ビジターセンターを含むファミリー向けのモニターツアーを実施し、旅行モデル化を図る。	白山市	N=1式	R4	R8	5	5				モニターツアーの実施、旅行モデル化に係る費用	
	○鉄道イベントの実施 (仮称) 白山総合車両所ビジターセンターのオープンに合わせ、「鉄道のまち」として観光に活かしていくため、鉄道に関するイベントを実施する。	白山市	N=1式	R4	R7	10	10				イベントの開催に係る費用	
	○ビジターセンター観光マップの作成 (仮称) 白山総合車両所ビジターセンター及び周辺地区の観光マップを作成する。	白山市	N=1式	R5	R6	4	4				観光マップの企画・デザイン、印刷に係る費用	

地域創造支援事業:防犯カメラ設置

【現況写真】

①加賀野地下道



④加賀笠間駅西口



②加賀野地下道



⑤加賀笠間駅東口



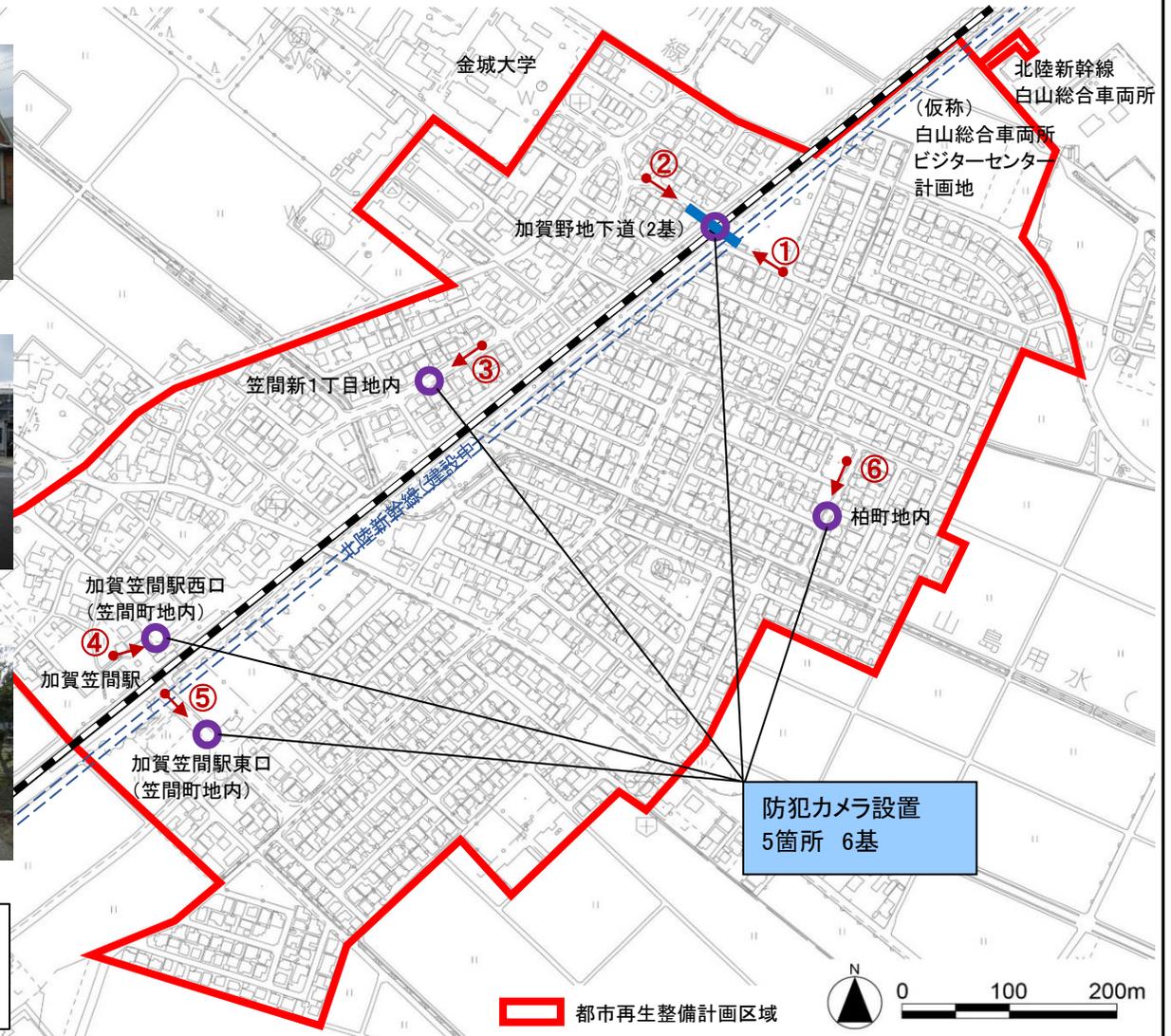
③笠間新1丁目地内



⑥柏町地内



【整備箇所】



【事業概要】

地区内の安全性向上を図るため、路上や地下道に防犯カメラを設置する。

地域創造支援事業:雨水排水路整備

【現況写真】

①



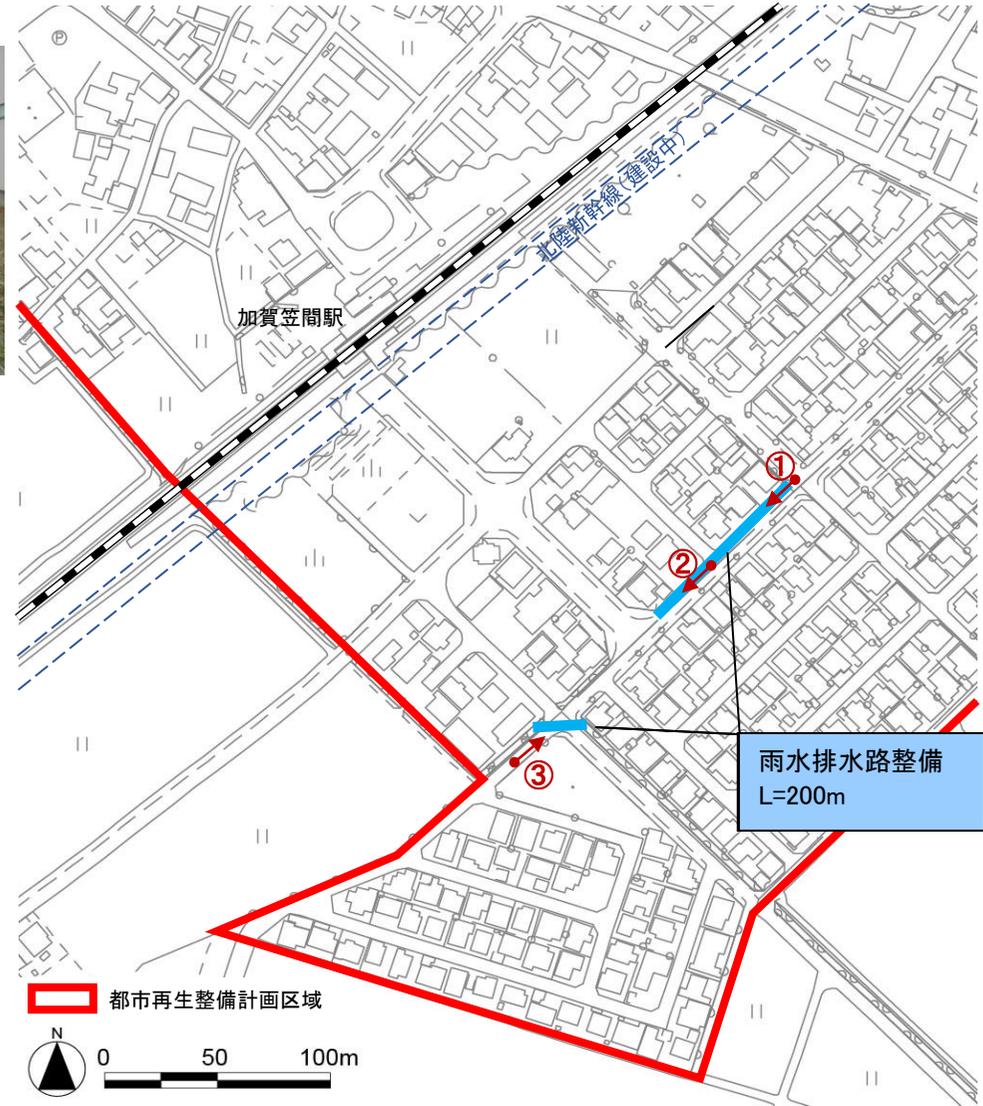
②



③



【整備箇所】



【事業概要】

大雨による冠水等を防止するため、雨水排水路を整備する。